

こっこめ通信 11 2013

「台風の風と波と雨」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

9月から立て続けに発生した台風。18号・20号・22号・26号・27号が八丈島から半径300kmまで接近しています。特に26号は強風が吹き荒れ、明け方に最接近だったこともあり、眠れぬ夜を過ごした方が多かったようです。伊豆大島では甚大な被害が及び、亡くなられた方も多数出てしまいました。この災害によって亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、大島の日も早い復興を心よりお祈りいたします。

さて今回は、「飛んできた？飛ばされてきた？」「続けてやって来た台風の影響とこれから」のお話です。

飛んできた？飛ばされてきた？

台風26号が通過した10月16日、八丈支庁林務課によってアカオネツタイチョウの幼鳥が保護されました。この鳥を預かった鳥獣保護員の森由香さんの計測によると、嘴峰（嘴の先端から基部まで）が59mm、跗蹠（踵から足の指の付け根まで）が27mmでアカオネツタイチョウの形態に当てはまりました。

八丈島では、2003年9月22日、台風15号の風に乗ってやってきたシラオネツタイチョウの記録があります（「2003年こっこめ通信10月号」で紹介）が、アカオネツタイチョウは初めての記録となります。南から北上した台風の風に乗って、八丈島まで流されてきてしまったのでしょうか？森さんが魚を与えて、元気が回復したアカオネツタイチョウは18日に放鳥され、海に飛び立っていったそうです（写真上段）。

また、10月6日には観葉植物や雑貨を販売している“のんぶらり”さんの花壇のニチニチソウに大きなイモムシがいて、駆除していると情報が寄せられました。確認しに行ってみると丸々と太ったキョウチクトウスズメの幼虫でした。八丈島ではキョウチクトウスズメの幼虫は2010年にも見つかったようですが、成虫は確認されていません。今回、幼虫が見つかったニチニチソウは種から育てたということなので、島の中で産卵が行われたようです。駆除から免れた緑色の幼虫（写真中段上）を飼育すると翌日には全く違う色（写真中段下）に変身し、さらに翌日には蛹になりました。そして16日後には羽化し、とても綺麗な模様の成虫が誕生しました（写真下段）。日本産蛾類標準図鑑によると「キョウチクトウスズメは移動性のある蛾として知られている」と書かれています。ヨーロッパからアフリカ、インド、東南アジアそして日本（小笠原でも）、ハワイなど広範囲で確認されている種。八丈島にも、成虫が飛んできて、ニチニチソウに産卵したのかも？しかし成虫をあまり見ないことや食草のキョウチクトウが食べられていないので冬を越すことができないのかもしれませんが。羽化した2匹の成虫は標本として残しました。



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

続けてやって来た台風の影響とこれから

10月11日に発生した台風26号は伊豆諸島を横断しました。そして前線の影響で大雨となった伊豆大島では大規模な土石流が発生し、たくさんの命が奪われるという悲しい出来事が起きてしまいました。



旧八重根港の防潮堤



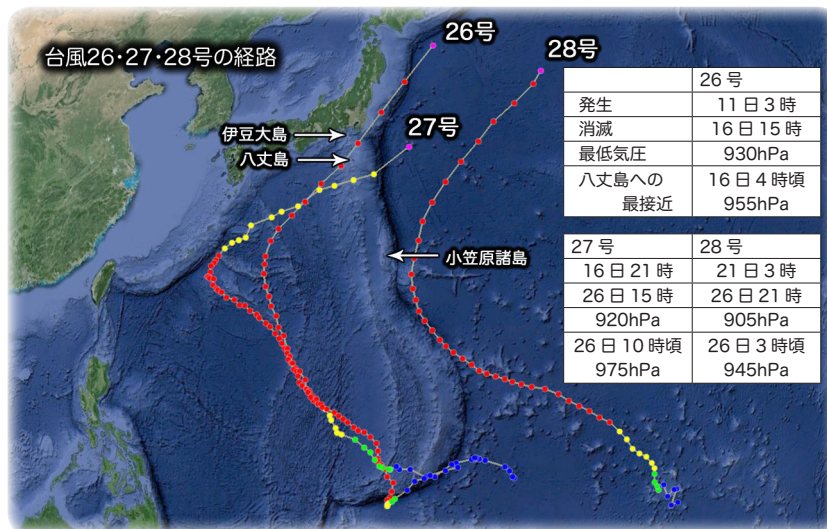
南原千畳敷周辺の道路



南原園地駐車場



大湊浦園地周辺の歩道



八丈島では、台風26号による人的被害はありませんでしたが、勢力が強いまま接近し、強風による建物への被害、高波による海岸周辺の被害が多数でした。また、雨が少なかった事で塩害による農作物・園芸植物への被害は計り知れないものとなっています。

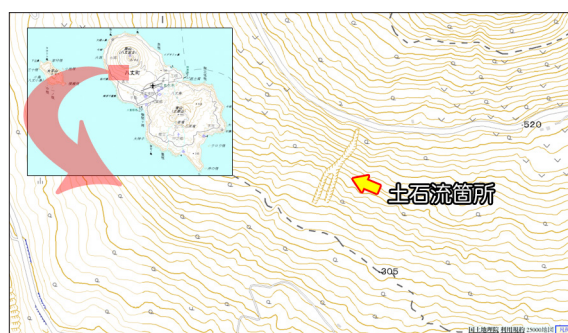
通過後に海岸を回ってみると、ダイバーに利用される旧八重根港の防潮堤は一区画が波の力で倒れていました（写真左上）。写真では分かりにくいですが長さ10m 重さ158tもあるとても大きなものです。また、海岸沿いの道には大きな石や砂利が散乱し、通行はできない状態（写真中段）。大湊浦園地の東屋は破壊され、乙千代ヶ浜の防潮堤はタイドプールに落ちるなどの被害も出ています。南南西の風44.7m/sの最大瞬間風速が記録されたのは午前3時40分、この時間帯には強風が吹き荒れ、停電も発生しました。場所によってはさらに強い風が吹き、屋根が吹き飛ばされるなど家屋の被害も数多く出ました。

その後すぐに発生した27号も心配されましたが、28号の勢力が増したことで停滞し勢力が弱まり、28号に引き寄せられるように八丈島の南を通過したため、被害が出ることはありませんでした。

台風26号による大島の被害は雨によるもので、日降水量が556.5mm、24時間降水量が824mmとすさまじい量の雨が降りました。そこで八丈島での過去の日降水量の記録を調べてみました（下表）。大島や八丈島の場合、雨が降り続き降水量が増えてもある程度は処理できますが、大量の雨が降り続けると災害が起こりやすくなってしまいます。八丈島でも1998年9月7日の雨で、洞輪沢港と八丈富士鉢巻き道路で小規模な土石流が発生しています。鉢巻き道路の場合、周辺の雨水が集まったことにより発生したと言われていますが、土石流は長さ350mもあり、現在の国土地理院2万5千分1地図上でも確認できます。大島の災害を教訓に八丈島でも雨に対する対策をさらに考えなければなりません。しかしその前に、**雨の降り方によって八丈島でも土石流が発生するかもしれない事を島民のみんなが再認識していなければならないのかもしれない**。

日降水量観測史上1~10位の値と前後三日間の総雨量（1906年6月～2013年10月）

	日付	降水量	前日	翌日	三日間	備考
1	1941年9月19日	438.90	103.1	0.2	542.2	
2	1965年9月25日	425.20	48.9	0.0	474.1	台風26号
3	1998年9月7日	419.50	21.0	0.5	441.0	
4	1988年10月8日	397.50	90.5	0.5	488.5	台風24号
5	1968年10月23日	368.00	42.5	159.5	570.0	台風19号
6	1936年10月20日	359.60	84.6	0.0	444.2	
7	1987年9月16日	356.00	1.0	39.5	396.5	
8	1953年8月29日	340.20	27.8	33.1	401.1	
9	1998年10月21日	330.00	8.0	13.0	351.0	
10	2001年10月18日	329.50	5.5	2.0	337.0	台風21号



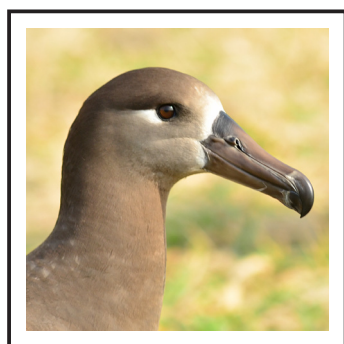
八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は 10 月 13 日 (13 時 30 分～ 15 時) に行いました。

八丈植物公園季節調査 (平成 25 年第 10 回) 参加者・沖山、菊池昭、茂手木、障子、障子、金田、黒田、VC 菊池

NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態
草本			33	ツユクサ	花	8	シチトウタラノキ	花
1	アオツツラフジ	実	34	ツルソバ	花	9	シマクサギ	花と実
2	アシタバ	実	35	ツルボ	実	10	トベラ	実
3	イガガヤツリ	実	36	ツワブキ	蕾	11	ハゼノキ	実
4	イヌタデ	実	37	テンツキ	実	12	ハチジョウキブシ	実
5	イノコヅチ	実	38	トウバナ	花と実	13	ヒメユズリハ	実
6	ウスベニニガナ	花	39	ナガエノコミカンソウ	花と実	14	ホルトノキ	実
7	ウリクサ	花と実	40	ナキリスゲ	実	15	ヤブツバキ	実
8	エダウチチヂミザサ	花	41	ネズミノオ	実	16	ヤブニッケイ	実
9	エノコログサ	実	42	ノコンギク	花	シダ植物		
10	オオバコ	花と実	43	ハイメドハギ	花	1	オオイタチシダ	
11	オニタビラコ	花	44	ハキダメギク	花	2	オオタニワタリ	
12	カタバミ	花と実	45	ハチジョウアザミ	花	3	オニヤブソテツ	
13	カヤツリグサ	実	46	ハハコグサ	花	4	カニクサ	
14	カラムシ	実	47	ヒナギキョウ	花と実	5	スギナ	
15	キツネノマゴ	花	48	ヒメクグ	実	6	タチクラマゴケ	
16	キンエノコロ	花	49	ヒメジソ	花と実	7	タチシノブ	
17	クズ	実	50	ヒメヨツバムグラ	花と実	8	タマシダ	
18	ケナシヒメムカシヨモギ	花と実	51	ヘラバヒメジョオン	花と実	9	ナチシケシダ	
19	コゴメガヤツリ	実	52	ホソバツルメヒシバ	実	10	ノキシノブ	
20	コニシキソウ	花と実	53	メヒシバ	実	11	ハカタシダ	
21	コミカンソウ	花と実	54	メリケンカルカヤ	花	12	ハチジョウカナワラビ	
22	コメヒシバ	花	55	ヤハズソウ	花	13	ハチジョウベニシダ	
23	ザクロソウ	花と実	56	ヤブマオ	実	14	ヒトツバ	
24	シマウチワドコロ	実	木本			15	ホシダ	
25	シマササバラ	実	1	イタビカズラ	実	16	ホラシノブ	
26	ススキ sp.	花	2	イヌザンショウ	実	17	ミゾシダ	
27	セイタカアワダチソウ	花	3	イヌビワ	実	18	ヤマイタチシダ	
28	セイヨウタンポポ	花	4	オオムラサキシキブ	実	19	ワラビ	
29	センニンソウ	実	5	ガクアジサイ	実	今回はシダ植物 19 種を含め 91 種の植物を観察しました。あらゆる植物を食い荒らすクワゴマダラヒトリの幼虫のコロニーが非常に目立ったので、手が届くところは駆除しました。		
30	タチスズメノヒエ	実	6	カラスザンショウ	実			
31	チチコグサ	実	7	サカキカズラ	実			
32	チヂミザサ	花と実						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、そろそろ八丈小島に戻ってくるかもしれない「クロアシアホウドリ」にスポットを当ててみたいと思います。



クロアシアホウドリ *Phoebastria nigripes*

ミズナギドリ目アホウドリ科、全長 78cm、翼開長は 200cm の大きな海鳥で、鳥島や小笠原諸島、伊豆諸島などで繁殖しています。

昨年、八丈小島で求愛ディスプレイを行っている個体が見つかり、繁殖の期待が高まっています。八丈小島に戻ってくるとすれば、11 月上旬に渡ってきて、12 月中旬に産卵、6 月中旬に巣立つ予定です。

2013 11

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		 この色の日は 特別行事があります			1 03:35 09:21 15:21 21:49	2 ガイドウォーク 04:19 10:01 15:51 22:23
● 3 ガイドウォーク 05:02 10:39 16:22 22:58	4 ガイドウォーク 05:46 11:17 16:54 23:36	5 06:31 11:54 17:27	6 07:17 00:15 18:03 12:33	立冬 7 08:06 00:58 18:41 13:15	8 09:00 01:44 19:24 14:05	9 ガイドウォーク 10:00 02:35 20:19 15:11
◐ 10 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 11:07 03:35 21:46 16:46	11 12:15 04:50 23:57 18:29	12 13:12 06:14 19:42	13 01:47 07:32 13:57 20:32	14 02:59 08:33 14:35 21:13	15 03:52 09:22 15:10 21:49	16 ガイドウォーク 秋の特別講演会 「虫コブの不思議」 04:36 10:03 15:42 22:23
17 ガイドウォーク 秋の特別行事 「鴨川林道自然観察会」 05:14 10:39 16:13 22:55	○ 18 05:50 11:13 16:44 23:28	19 06:24 11:45 17:14	20 06:56 00:00 17:44 12:16	21 07:29 00:33 18:15 12:48	小雪 22 08:03 01:06 18:47 13:22	23 ガイドウォーク 八文学講座 「火山灰を調べよう」 08:39 01:41 19:21 14:01
24 ガイドウォーク 09:19 02:18 20:03 14:52	25 10:06 03:01 21:07 16:06	☾ 26 11:03 03:55 23:01 17:44	27 12:05 05:05 19:05	28 01:04 06:26 13:00 19:59	29 02:25 07:40 13:48 20:43	30 ガイドウォーク 03:24 08:42 14:30 21:23

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
11/10（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

特別講演会 「虫コブの不思議」

佐賀大学農学部応用生物科学科准教授の徳田誠さんを講師に招き、不思議な虫コブのお話をして頂きます。
11/16（19:30～ 約1時間半） 小学生4年生以上
ビジターセンターにて 参加費：無料 定員：55名

東京文化財ウィーク企画事業 「鴨川林道自然観察会」

東京文化財ウィークに合わせ、鴨川林道で自然観察会を開催します。
11/17（9:30～ 約6時間） 小学生以上（低学年は保護者同伴）
ビジターセンター集合・解散 参加費：500円（保険代） 定員：20名

八文学講座 「火山灰を調べよう」

毎月行っている八文学講座。一見同じような火山灰が全く異なる噴火による噴出物であることを確認します。
11/23（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2013.11.1 第150号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

台風26号は久しぶりに恐怖を感じた台風でした。最大瞬間風速44.7m/sほどの風は何度か経験しています。しかし、夜中の風、さらには停電して何も見えない中でのこの台風は恐怖です。昼間に通過していれば、大島の災害ももう少し防げたかもしれません。（高）